



PTA会長 佐々木 亨



令和5年度のPTA会長を拝命しました「佐々木亨」(ささきあきら)と申します。私自身、まだまだ未熟者でございますが、PTA会員の皆様や同窓会の皆様、教職員の皆様と力を合わせて、松山工業高校を盛り上げてまいりたいと決意しておりますので、どうかご理解とご協力をお願い申し上げます。

私は島根県で生まれ育ち、平成7年に地元の工業高校を卒業しました。この平成7年は「阪神淡路大震災」や「地下鉄サリン事件」など大きな出来事があった年でした。高校を卒業して大手電気工事会社就職して神戸に配属となり、震災後の復興に関わるような仕事をしていたのですが、配属後8年が過ぎ、神戸の街も整備され仕事量が少なくなってきたことをきっかけに、妻の生まれ故郷でもある松山に転勤してきました。

私の通っていた工業高校は電気科1クラス、機械科2クラス、工業化学科1クラスで1学年4クラスの学校で、3年生の時に機械科が電子機械科に代わりました。私はこの時、「工業高校というのは技術の進歩や産業のニーズに合った教育をしなければならぬのだなあ」と思ったことをよく覚えています。私が卒業した後は、入学を希望する生徒が徐々に減少し、平成二十年に閉校となって他の高校と統合されました。時代の流れとはいえ、少し寂しい気がします。

この愛媛県におきましても、県立高校の統廃合が話題となつています。少子化社会で子どもの人数が減少していく中、たくさんの方の生徒に選んでいただける松工であつて欲しいと願います。

そのために、学校では様々な取り組みがなされていますが、私たちPTAも松工の発展のために努力して参りたいと思います。特に、近年ではPTAのあり方が問われるようになってきました。さらに、ウィズコロナからアフターコロナへの移り変わりのタイミングでもあり、今後のPTA活動にも変化が生じてくるかもしれません。松工に関わる皆様に喜んでもらえる活動を目指して参りたいと思います。

ので、どうか皆様ご理解とご協力をお願い申し上げます。



セ2 山内 晴加

令和5年度PTA新体制

令和5年度PTA総会が、5月9日(火)に開催されました。

まずリレーカーニバルが実施され、各科対抗の熱戦が繰り広げられました。その後、体育館にて総会が行われ、役員選出・前年度事業及び決算報告、また本年度事業計画・予算等の議事が滞りなく進行し、原案通り承認されました。総会終了後、学級懇談・進路相談が実施されました。また、5月26日(金)には第一回PTA理事会が開催されました。次のとおり役員が決定しました。



会長 佐々木 亨
顧問 正鑄 真一
副会長 宮地 洋安
川邊 佳子
村上 征士郎
山内 郁子
武井 一郎
清水 伸浩
武本 優希
石丸 静江
高畑 しのぶ
井関 志保
久田 亜衣子
三原 紗耶加
西岡 泉
加藤 佐千子
宮岡 正枝
永木 智子
環境体育部長 松島

監査

総務部長
研修部長
生活指導部長
進路指導部長
文化部長
保健体育部長
松島

この他、第2・3面に紹介する各地区理事や校内理事(各課科長・主任)が協力して今年度の活動運営に当たります。



セ2 野本 涼風

令和5年度 P T A 理事

※令和4年度までは地区別で選出

機械科			電子機械科			電気科			情報電子科		
P T A 役員	(生徒名)		P T A 役員	(生徒名)		P T A 役員	(生徒名)		P T A 役員	(生徒名)	
公文 圭美	㌖1 貴義		清水 真美	㌖1 權斗		二宮 浩	㌖1 浩颯		白川 美智留	㌖1 春道	
徳永 久美	㌖1 隆之介		矢田貝 恵	㌖1 楓		三瀬 和枝	㌖1 優翔		新名 勝美	㌖1 悠叶	
永木 正枝	㌖1 大翔		井関 しのぶ	㌖2 信乃介		宮岡 絵美	㌖1 蓮		田村 智津子	㌖1 侑太郎	
西村 ヨシオ	㌖1 有生		小川 誠	㌖2 伯		門田 千亜希	㌖2 晟弥		片山 弘美	㌖2 昭太郎	
松本 理恵	㌖1 悠椰		加藤 泉	㌖2 蒼士		片岡 美苗	㌖2 陽斗		菊地 淳恵	㌖2 奏仁	
大政 由美	㌖2 光貴		黒光 志穂美	㌖2 亮介		塩崎 真美	㌖2 誠也		西内 正樹	㌖2 春翔	
河本 歩	㌖2 颯史楼		砂川 良子	㌖2 颯志郎		下土居 研二	㌖2 空隼		浜本 恭子	㌖2 哲進	
長尾 拓也	㌖2 海音		日野 仁美	㌖2 陽介		田中 真由美	㌖2 愉人		吉岡 沙織	㌖2 莉奈	
橋本 潤一	㌖2 光輝		安岡 美紀	㌖2 祥子		石丸 優希	㌖3 颯也		青木 仁美	㌖3 爽真	
樋ノ口 早紀	㌖2 悠安		好竹 賢祐	㌖2 元希		高畑 静江	㌖3 柊人		石崎 美穂子	㌖3 航羽	
村上 征士郎	㌖2 ヒカル		足利 美幸	㌖3 治樹		小西 和也	㌖3 昂		泉田 藤子	㌖3 希龍	
渡部 奈緒	㌖2 飛那		久葉 道生	㌖3 温斗		武下 京子	㌖3 壮佑		大森 里美	㌖3 隼斗	
池本 幸子	㌖3 孝太郎		佐々木 亨	㌖3 大誠		谷本 真紀	㌖3 亘		土田 敬人	㌖3 想太郎	
久保 和美	㌖3 壱生		露口 佳菜	㌖3 周弥		新田 浩平	㌖3 健吾		戸田 加奈子	㌖3 姫奈	
佐々木 忍	㌖3 琉斗		松木 めぐみ	㌖3 春翔		野崎 ひとみ	㌖3 一真		西山 加奈子	㌖3 未唯	
薬師神 良昭	㌖3 峻					村上 里香	㌖3 圭太		松野 愛恵	㌖3 京介	
和田 真子	㌖3 龍之介								水木 絵美	㌖3 優羽	
									宮本 真澄	㌖3 蒼司	

工業化学			建築科			土木科			繊維科		
P T A 役員	(生徒名)		P T A 役員	(生徒名)		P T A 役員	(生徒名)		P T A 役員	(生徒名)	
池 晴美	㌖1 航次郎		大塚 亜紀	㌖1 颯稀		阿部 ゆかり	㌖1 怜大		阿部 直美	㌖1 美怜	
岡本 志乃	㌖1 昂		大山 哲雄	㌖1 真央		亀田 香織	㌖1 湊大		篠森 啓一	㌖1 心音	
田中 千栄	㌖1 波音		松島 智子	㌖1 憂輝		佐々木 真由美	㌖1 湧人		杉原 美和子	㌖1 塔子	
三井 和美	㌖1 智晃		三原 亜依子	㌖1 楓太		瀧平 梨江	㌖1 逸牙		上岡 宏美	㌖2 日和	
上田 優介	㌖2 侑世		井谷 淑子	㌖2 真翔		山内 郁子	㌖1 健聖		竹市 亮子	㌖2 萌果	
越智 良英	㌖2 竜之介		伊藤 有加	㌖2 虎我		大宮 由季	㌖2 湖々音		福田 郁恵	㌖2 里緒奈	
金子 真澄	㌖2 正真		大森 健	㌖2 彩代		蔭山 哲也	㌖2 有斗		松岡 綾	㌖2 心美	
酒井 充	㌖2 真		岡田 朱里	㌖2 友那		古寺 美智代	㌖2 孝晃		宮本 美香	㌖2 有珠	
高橋 なおみ	㌖2 美緒		梶原 紀子	㌖2 圭登		白城 大介	㌖2 蒼心		吉田 悠史	㌖2 美悠	
武田 美由貴	㌖2 憩樹		小原 真紀	㌖2 有稀		高橋 智美	㌖2 藍太		玉井 亮	㌖3 心音	
樽古 浩一	㌖2 希心		染川 美保	㌖2 明孝		武田 綾	㌖2 海俐		永安 美津子	㌖3 穂希	
井門 優也	㌖3 優輝斗		高市 真季	㌖2 悠滉		土井内 三波	㌖2 虹斗		林 陽子	㌖3 神那	
越智 恭子	㌖3 優弥		野本 恵美	㌖2 颯		中村 加奈	㌖2 陽生		久田 志保	㌖3 風羽	
烏谷 妙子	㌖3 樹		林 景子	㌖2 毅一		西岡 沙耶加	㌖2 慧真				
川邊 佳子	㌖3 万由加		藤久まどか	㌖2 愛		西川 美紀	㌖2 颯汰				
久葉 真由美	㌖3 奨斗		石崎 裕美	㌖3 碧海		三原 幸司	㌖2 龍空				
河野 清美	㌖3 雄馬		上田 英茂	㌖3 怜皇		村松 員麻	㌖2 蹄来				
佐伯 すみえ	㌖3 日向		尾崎 優	㌖3 夢唯		池田 春菜	㌖3 祥真				
杉野 留里子	㌖3 陽太		菅 美紀	㌖3 はなび		井上 香織	㌖3 陽ノ介				
高須賀 香織	㌖3 ななみ		河野 圭子	㌖3 伊吹		長野 真弥	㌖3 圭悟				
土居 佳夏	㌖3 豊		重松 英子	㌖3 華蓮		西野 真樹	㌖3 白琉				
宮岡 佐千子	㌖3 華佳		重見 梓	㌖3 航雅		廣瀬 華子	㌖3 来稀				
長下 あかね	㌖3 晏大		高橋 智恵	㌖3 優太							
宮内 英雄	㌖3 明		田中 京子	㌖3 賛美							
米田 恵	㌖3 遥人		兵頭 智恵	㌖3 飛弦							
			松本 由紀	㌖3 獅桜							

令和5年度 校内理事

総務課長	伊賀 亜由美
教務課長	野本 啓吾
ICT課長	宮岡 欣一郎
生徒課長	西岡 真也
進路指導課長	岡田 慎一
図書研修課長	家久 寧子
特活課長	門田 普也
保健体育課長	坂本 哲也
工業教育推進課長	石丸 泰昌
教育相談課長	小畑 陽子
人権教育課長	坂根 洋一
厚生課長	栗原 伸二
機械科長	真鍋 明徳
電子機械科長	山岸 貴弘
電気科長	関谷 達也
情報電子科長	青野 潤三
工業化学科長	米田 晃
建築科長	伊藤 博善
土木科長	岩井 仁志
繊維科長	佐伯 秀樹
事務課長	遠富 隆史
1年学年主任	青野 真洋
2年学年主任	宮内 千里
3年学年主任	谷本 芳英



ケ2 大政 純麗

各科だより ～ 電気科 「電気科の取組」

電気科長 関谷 達也

今や生活や社会において電気の重要性が高まっています。電気科では電気を安全に運用・管理するために基礎知識や技術を学び、将来産業界で中核となつて活躍できる技術者の育成を目指しています。今回は電気科の特徴的な取組をいくつかご紹介いたします。

一つ目は、各学年で資格の目標を持たせていることです。1年生は第二種電気工事士、2年生は第一種電気工事士、3年生は2級電気工事施工管理技士の資格を全員受験しています。特に1年生で受験する第二種電気工事士の資格は、住宅などの屋内配線工事の仕事に従事できる資格です。電気の専門科目は難しいといわれますが、この資格を取得することで自信を持ち、いろいろなことにチャレンジできていくようです。

二つ目は、プロの方から実際に技術を学べる「匠の技教室」が充実していることです。電気科で身に付けることができる技能は電気工事の技能になります。自分の技術・技能を電気工事組合のプロの方にアドバイスしていただくことで自信をつけています。さらに四電工様には金属管や合成樹脂管の曲げ作業などを取り入れた配線作業も体験させていただき、電気工事に興味を持つ生徒も増えていきます。また最近では冷凍空調設備工業会様にエアコンの工事についての実習も行っていたくようになりました。

このような流れのなかで、高校生ものづくりコンテスト電気工事部門への挑

戦も行っています。令和4年度には四国大会で優勝し全国大会へ出場することができました。今年度は残念ながら出場者がいませんでしたが、来年度以降は現1年生のやる気に期待したいと思います。



三つ目は、キャリア教育の充実があげられます。先に述べた資格取得や匠の技教室もそうですが、インターンシップや企業見学、マッチングフェア、卒業生の講話など、あらゆる機会で社会的・職業的自立に向けて必要な能力や態度を育み、個々の進路実現に繋がっています。

最後は取組ではありませんが、ちょっとしただけのお話です。それは電気科を卒業すると第二種電気工事士の筆記試験が免除になること、第三種電気主任技術者（電験三種）の資格が実務経験を積みむことで認定取得できるということです。これは電気科が経済産業省の認定を受けているからです。第三種電気主任技術者（電験三種）の資格を取ろうと思ったら、試験に合格すればいいわけですが、在学中に理論、電力、機械、法規の4科目すべて合格して資格を取得した生徒はこの二十一年間で3名という超難関の資格です。それでも毎年意欲のある数名がチャレンジしています。科目合格の制度があり、現3年生にも1科目合格している生徒がいます。

以上、簡単ではありますが、電気科の取組を紹介させていただきました。電気科に入学すれば必ず満足してもらえるように生徒たちと取り組んでいきたいと思っています。



遠雷

「ありがとう」

PTA副会長 山内 郁子

今年度、PTA副会長を務めさせていただいております山内郁子と申します。ご縁あって新しく出会えた方達とともに、愉しみながら活動することが出来ればと思っています。どうぞ宜しくお願い致します。

時々学校に向くと、子供達が大きな声であいさつをしてくれます。少々たじろぎながら声を返すのですが、元気をもらいます。大人も見習わないといけないなど、いつも感心しています。また部活動では、ひとりひとりが目標を持ち、全力で取り組む姿にまた元気をもらっています。そして、何よりご指導してくださっている先生方には本当に頭が下がります。ありがとうございます。

この間、本屋に立ち寄ると、こんな文面を見つけました。「毎日ありがとうと唱えていると、またありがとうと言いたくなる出来事に会おう」のだそうです。今日も元気に帰ってきてくれてありがとう。お弁当を一粒残さず食べてくれてありがとう。田んぼの苗が青々と育っている、おいしいお米をありがとう。今日は空が澄み渡って気持ちがいい、ありがとう。そんなふうに過ごしていると、ガミガミと小言を言うことが減ったような気がします。一方、西日本豪雨からはや5年、各方面で復興復旧が進んでいると見聞きしますが、心に負った傷が癒えるには長い時間が必要なのかもしれません。

一日でも早く穏やかな日常を取り戻すことが出来るよう願うばかりです。雷が鳴ると梅雨が明けると言いますが、もうすぐ本格的な夏を迎えます。災害の備えと体調を万全に暑い夏を乗り越えましょう。遠くからの雷の音にも、他人事ではなくしっかりと耳を傾けていきたいものです。あたりまえの日常に感謝して、ありがとう。



セ2 山先 希亜



セ2 和田 悠花

部活動だより

弓道部

顧問 杉本 淳

弓道部は今年度3年生10名、2年生10名、1年生21名の計41名が在籍しており、高校生になって弓道を始めた生徒がほとんどです。6月に行われた愛媛県総合体育大会には男女ともに団体戦に出場しました。決勝に進めず悔しい思いをしましたが、最後の最後まで諦めずに頑張りました。また、男子個人では橘哲平さんが第4位になり、四国総体への出場を果たしました。

私自身は弓道の経験がなく、あまり知識のない中で顧問をしています。技術的なことは、時々来てくださっている青野先生にアドバイスをいただいていますので、私は高校生らしい挨拶ができた、きちんとしたコミュニケーションがとれたり、時間を守ったり、部活動以外の毎日の学校生活も一生懸命頑張れる部員を育てていきたいと思っています。その結果、いろんな方々から応援される弓道部を目指します。1年生は5月に礫(かけ)の注文をし、先日届きました。そして、道場で弓道ができる日を楽しみに日々基礎練習に取り組んでいます。基礎練習は2、3年生が練習の合間に交替で1年生に丁寧に教えてくれています。2、3年生にとっても自分自身を見つめなおすいい機会になっていると思います。1年生の成長が先輩たちの喜びであり、先輩たちの頑張りを見て、後輩たちは先輩たちに追いつこうと頑張っている良い関係が今後も続いてほしいと思います。

目標である「全国大会出場」を目指してチーム全員で頑張っています。

